

# 國學院大學学術情報リポジトリ

## 出張報告「宗教文化教育に関する研究会・調査」

|       |                                                                                                  |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者:<br>公開日: 2024-07-02<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者:<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.57529/0002000551">https://doi.org/10.57529/0002000551</a>            |

## 出張報告

### 「宗教文化教育に関する研究会及び調査」

2018年度の研究事業「デジタル・ミュージアムの運営および日本の宗教文化の国際的研究と発信」の一環として、2019年3月2日（土）から3日（日）にかけて、福岡県において平成30年度第5回「宗教文化教育に関する研究会」を催行し、また福岡の宗教文化についての調査を行ったので報告する。

これまで「宗教文化教育に関する研究会」は基本的に國學院大學で催行していたが、本研究会を博多で行うことについて、九州地方の研究者や関心を持つ方に参加して頂き、宗教文化教育の取り組みについての議論をより深めたいという意図があった。現地での調整については、九州大学の飯嶋秀治氏に大変お世話になった。記して謝意を示す。

2日（土）の午後に、博多駅近くの会議室において研究会を開催した。まず日本文化研究所前所長の井上順孝氏が「揺れ動かされる宗教への視点——21世紀の宗教文化教育の課題」という題で基調報告を行い、これまでの日本文化研究所の宗教文化教育への取り組みに触れながら、現状を概観し、また今後の展望について問題提起を行った。

これに対して、飯嶋氏、滝澤克彦氏（長崎大学）、中川正法氏（筑紫女学園大学）ら参加者から応答があり、活発な質疑が行われた。

翌3日（日）は、宗教文化教育に関心を持つ研究者や大学院生などの参加を受けて、総勢20名弱で、筥崎宮、福岡マスジド・アンヌールイスラム文化センター、聖福寺、櫛田神社、カトリック大名教会など福岡市内の宗教施設を訪問し、調査した。

訪問施設はいずれも興味深かったが、特に福岡マスジド・アンヌールイスラム文化センターでは、マスジド内の見学に加えて、イマームと日本人信者の方に同席して頂き、イスラームの教えや、同マスジドが2009年に4階建てのビルとして設立されるに至った過程、また同マスジドの状況などについて説明があり、その後質疑応答も行うことができた。

また、最後に訪れたカトリック大名教会では、見学後に場所を貸して頂き、参加者全員で感想を話し合って共有することができた。参加者からは好意的な感想が多く聞かれ、全体を通して、良い学びの機会となった。

（星野靖二）



井上氏基調報告の様子



左：筥崎宮の湧出石、右：福岡マスジド遠景